全国税

発行所
東京都千代田区霞ヶ関
財務ビル内（〒100-0013）
全国税労働組合
発行人　岡田　俊明
電　話（03）3581−3678
ＦＡＸ（03）3507−0886
振替口座　00140-2-68514

「なくせ貧困！守れ雇用！生活危機突破！11・13中央行動」に5,500人が集まり、会場の日比谷野外音楽堂は埋め尽くす熱気につつまれました。

15分時短やっと決定

早期に「勤務時間法」改正を

庁は職員個々の要望に合った時短を図れ

政府は、11月14日の閣議で08年人事院勧告の取り扱い方針を正式決定しました。

その前日、国公労連・全国税は、総務省と交渉しました（村木人事・恩給局長が対応）。

交渉の中で、総務省は①総務大臣は、人勧制度を尊重すべきとの立場で意見を述べてきた。②3回目の給与関係閣僚会議で、給与及び勤務時間について決定されれば、その後の閣議において政府の取り扱い方針が決定される。③決定が厳しい諸情勢の下でなされたことを理解し、国民の信頼に応え、公務能率及び行政サービスの一層の向上に努めていただきたい、と回答しました。

□　□　□

国公労連・全国税は、①勧告から3ヵ月経過し、臨時国会の会期末（11月30日）が近づく中、結論がでていなかったことは不満であり、「労働基本権制約の代償措置の根幹をなすものとして尊重する」としてきた政府の姿勢に照らしても、問題が残る対応であったといわざるをえない。②所定勤務時間の短縮について、勧告通り実施するとの回答は評価できるが、今国会で早期に勤務時間法の改正を行い、各省庁で必要な環境整備が図れるよう取り組みを進めてもらいたい。③公務能率などを言うなら政府として必要な予算・定員の確保に努め、超勤縮減や非常勤職員の処遇改善など人事院が報告でふれている事項についても、使用者・政府の責任で取り組んでもらいたい、と主張しました。

総務省は、「給与法と勤務時間法の改正に向け、与党審査などの手続がスムースに進むよう、また、国会での速やかな審議もお願いし、何とか臨時国会の会期内に成立するよう努力したい」、「非常勤問題については難しい課題であり、人事院とも相談し、場合によっては各省の実情も聞きながら、一歩でも前進できるようにしていきたい」と回答しました。

11月14日閣議決定の主な内容

①平成20年度の給与改定を見送り、（略）本府省業務調整手当を新設するなど給与構造改革を引き続き推進。
②勤務時間については、人事院勧告どおり、平成21年度から１日７時間45分、１週38時間45分に改定。

「名ばかり労働組合」ではあなたを守れません

困った時、悩んだ時、助け合う全国税

「ウズ高く積まれる書類にダウン寸前」「仕事のやらせ方、内容がヘン」「まわりの不機嫌なムードで息がツマる」…。一人でグチっても、「ワガママ言うな」で片づけられそうです。

あなたが感じる疑問や不満、それを全国税は大切にします。「放っておけない、みんなで解決しよう」と力を合わせます。

決して“見ないフリ”はしません。

一緒に声を上げれば、相手の受けとめ方も変わってきます。

誇りとゆとりある仕事めざす全国税

納税者の視点、納税者の立場にたった行政を通じ、誇りが持てる仕事をめざしています。

調査や滞納処分に傾斜せず、納税者サービスを拡充して、相手の役に立つ行政をめざしています。

長時間・過密労働に歯止めをかけるため、人員配置・事務分担の見直しや事務の優先順位を再チェックさせます。

ノルマを許さず、無理な調査計画等の押しつけには抗議し、手直しさせます。

パワハラを憎み、その根絶に全力をあげます。

平和と憲法を大切にする全国税

平和こそみんなの願いです。仕事も暮しも平和の上に成り立ちます。

日本を「戦争する国」に変える憲法９条改悪に反対します。武力で平和は築けません。戦争や核兵器のない世界をめざします。

安心して働き、暮らしていくため、全国税は平和と憲法を大切にします。

全国税を選択してください
あなたの加入を待っています

“税務の職場”何でも110番

zenkokuzei@aol.com

全国税は、職場で起こった問題を解決するため「税務の職場、何でも一一〇番」を常時設置しています（電話とＦＡＸは上記の番号までどうぞ）。

◇全国税ホームページ◇
http://www.kokko-net.org/zenkokuzei

相談官希望者いなくなる!?

電話相談センターからＳＯＳ

【関信局電話相談センター】

10月24日に全分室とサテライトが閉鎖され27日から、さいたま新都心合庁1階の相談センターで相談官50名体制の相談業務が始まりました（住居異動者を除き、28日にはほぼ全員着任）。

相談センターは1階の一番奥に設置されており、窓はほとんどなく倉庫を改良した様な感じ。事務室はゆったりしていますが、窓がないため圧迫感があり、ストレスがたまってしまうとのことです。

管内63署の代表番号にかかった電話は、納税者の選択で振り分けられ、初日は全体で約2500件受け付け。受付可にすると、すぐ電話が鳴る「入れ食い状態」となっており、確申期を迎えるこの先が思いやられるとのことです。

「1日60件の電話を受けて疲労困ぱい、血圧も一気に上がってしまった」と、相談官はため息をついていました。

【東京局神田センター】

空いている所に自動的にかかる方式のため、終わるとすぐ次の電話がかかり、一日70～100件の応対（各人別の応対件数は自動的にカウントされ、離席した時間数も各人別に分かる仕組み）。

1グループ5人が背中合わせに座り、各税目（法人、所得、資産）をそのグループ内で検討できる仕組みで対応―全部で14グループ・70名、このほか総括相談官1、総務担当6、審理担当5名で総勢82名。

◆納税者サービスの観点からも、対面で相談できる分室の復活が望まれます。

こんな物、送り返したい

永年表彰―対応も記念品もお粗末

【北海道地連】「永年表彰式の変更」で受彰者の失望が高まる中、大臣表彰の記念品があまりにお粗末だった。

表彰式当日も、代表者1名以外は「後日送付します」とのことだった。

まずここで参加者の反感を買った。

さらに、送付されてきた記念品を見て、表彰該当者の怒りが爆発した。

13㎝×20㎝、厚さ2㎝の小箱に、「永年勤務者表彰」「財務省」の帯封。中身は「CROSS」のボールペン1本。

写真が示すように、専用筆記具が5本入る溝に1本だけ、隣に5本入る皮製ペンケースが収められたシロモノ。

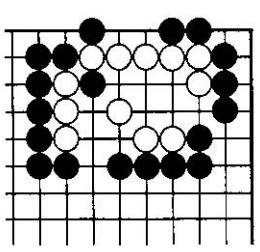
受彰者から、「人を馬鹿にしている」「カネを使わない触れこみなら、こんな物はいらない」「送り返してやりたい」などの声。また、受彰者の妻からも「おかしいのでは」という声が上がっている。

この事実を知った周囲の人からは、その不自然さに「中身を確認しなかったのでは」などの声。

そろばん弾

社保庁職員から国公一般に以下のような「悲鳴メール」が寄せられた▼職場は疲弊しています。精神的にギリギリで、家族も辛い思いをしています。普通に真面目に頑張っている職員、一杯います。一杯いました。でも、みんな疲れ果て、心身ともに崩れだし、休職、辞職へと追い込まれています。問題が大きくなり、道も塞がれようとしています。このままでは……。助けてもらいたいです。どうしようもないのでしょうか…▼国公労連は、各地で「安心年金つくろう会」を結成し、国の責任で安心して暮らせる年金制度の確立を求めている。さらに「社保庁解体・民営化反対」運動を展開し、働く者の権利を無視した攻撃に対し連帯する行動を広げている。

詰碁



〈出題〉九段　石榑郁郎　黒先

〈ヒント〉好手順の攻めで白の眼形を奪います。（7分で二、三段以上）

視点

賃金は訴える

○働く人の生活を支える賃金が、組合に奮起を求めている。民間給与は10年ぶりに上向きになったものの、物価上昇による賃金の目減りは大きい。さらに低賃金層の増大や中堅所得層の没落も進んでいる。すべての労働者の実質賃金の回復を共通軸に、賃金底上げと中堅層の賃金改善の強化が求められている。

○国税庁の民間給与実態調査で、07年度の平均給与は前年より23,000円増（0･5%）の437万2,000円となった。賃金の上昇は10年ぶり。好況下で労働界がベアを含む賃金闘争を展開した成果でもある。ただし、水準は３年前の438万8,000円に回復した程度であり、さらに改善が求められる。

○問題は低賃金層の増大と中堅層の没落である。年収200万円以下は前年より41万6,000人増の1,200万8,000人となった。一方、中堅層ではじわじわと賃金低下が続き、５年間で300万円超900万円以下の階層は81万6,000人も減少して2460万4,000人。逆に、1,000万円以上は11万5,000人増加して232万6,000人となり、格差の拡大を示している。

○不安なことは食料など物価高騰による賃金目減りである。厚労省毎月勤労統計によると、実質賃金は06年△0.1%、07年△0.8%と連続低下。08年もマイナスが続き、とりわけ７月△2.5%、８月△2.8%と落ち込みが大きい。実質賃金は１ヵ月で約8,000円も低下し、生活に不安な影を落とす。

○消費支出も６ヵ月連続でマイナスとなり、金融不安と資源高による景気後退も懸念される。外需に依存しない内需型経済への転換と、個人消費拡大に向けた賃上げが国民的課題となっている。

実質賃金の向上・波及へ「組合頑張れ」と、家計が訴えている。

青年部庁交渉

青年の発想とり入れた運営を

独身寮一人一室の後退に抗議

新給与制度下「若いうちの差」つけるな

青年部は11月10日、国税庁と交渉し、①青年の育成と成長を促す事務運営への転換、②新給与制度の下、「若いうちの差は好ましくない」とのスタンスを堅持した昇給・昇格の運用、③「一人一室」を後退させる世帯型宿舎への複数入居の廃止、④パワハラ根絶を中心に追及しました。

■事務運営■

青年部　幹部会やPTで検討している内容を明示するとともに、青年職員の議論への参加を保障し、青年の発想を取り入れるよう改善せよ。

当局　検討過程を含めて知らせ、参加意識を持ってもらうことは大事だ。真摯に耳を傾けたい。

青年部　重点項目調査で件数増となり、アレコレ見たかと苦しめている。身につけるべき技法等を示し、到達点を図りながら進めるOJTにすべきだ。

当局　一般と重点を組み合わせメリハリのある調査をお願いし、重点は早期終了を指示している。

青年部　徴収でも、一年目から地域分担で多くの件数を持たされ、滞納整理等が場当たり的となる。少なくとも採用1～2年目は、プロパーのいない部門に配置するな。

当局　要望は承る。

青年部　ある局で、一元化担当部門に基礎研修明けの専科生全員を配置するとの話が出ている。

当局　新人の配属をどうするかも含め検討しており、確定はしていない。

■研修問題■

青年部　専科研修２ヵ月目の試験で、審理と一般班に分け、振るいにかけるやり方は止めよ。

当局　振るいにかけているとは思わないが、指摘があったことは伝える。

青年部　青年間差別の拡大につながり、「若いうちの差は好ましくない」との確認にも反する。

当局　極端な差は好ましくないとの考えは変えていない。

■青年間差別問題■

青年部　新給与制度は入署2年目から差がつく制度設計となっている。「若いうちの差は好ましくない」とのスタンスを堅持すると約束せよ。

当局　考え方は先ほど答えたが、要望は伝える。

青年部　配属部門の環境等に違いがある中、差をつけた評価を行うこと自体問題がある。これまで「初回特昇・３級昇格」は、徐々に差を解消してきた。２級段階では差をつけない運用を求める。

当局　早い段階の差があるとすれば、それは個別事情があったと考える。

■独身寮改善問題■

青年部　「国有財産の有効活用」の影響で、青年を世帯型宿舎に複数入居させている。「一人一室」の後退で容認できない。

当局　難しい問題があることは理解願いたい。宿舎型を独身寮に転用し、さらに宿舎用に戻すケースは起きる。

青年部　世帯型転用は私生活を無視したものだ。

当局　意見は伝える。

青年部　ワンルームタイプの建設や「２戸１」にしてきた経緯がある。

最低限、①これ以上世帯型への入居者を増やさない、②建設予定寮には、世帯型宿舎に複数入居している寮生も優先貸与する、③これらを通じ複数入居を解消するよう強く求める。さらに、入居者の安全・防犯対策を講じるよう求める。

当局　強い要望があったことは伝える。

高橋青年部事務局長

■職場の非常識問題■

青年部　セクハラを根絶していく過程で、当初「これでは女性職員とコミュニケーションも図れない」など抵抗する声が上がったことは記憶に新しい。

どんな抵抗があろうとも、パワハラの定義を明確にし根絶に本腰を入れるべきだ。

当局　長官も人格を損ねてはならないと強調しており、ハラスメントのない職場をめざす。

青年は我慢重ねている

田山青年部長

今の青年は、我慢に我慢を重ねている。

辞めていく青年は少なくない。それほど魅力のない職場になったのかと危機感を抱く。

我慢を重ね、耐え切れず病気になったり、自殺した職員もいた。私達は、そんなに強くはない。

心身ともに健康で安心して働ける職場であったらいい、和気あいあいと仕事がしたい、早く一人前と認めてもらいたい、自立し自信を持って生活をしたい、他人にも地域にも優しくありたい、そうした青春の中で恋愛や結婚をしたい――ひとりの若者として、幸福追求の要求は強い。そんな若者を庁は採用し、若者の青春を預かっている。

苦しむ若者がいる現状に満身の怒りを持つ。

お互いが責任を持って、青年の苦しみを解消し、職場全体を向上させる立場で、創意工夫しながら一つひとつ改善が図られるよう求める。

飯の心配

【北海道地連】

「単身赴任だもの、どこで泊まっても同じ。飯の心配しないだけ楽でしょ」。同僚の言葉を聞きながら、出張先へ。四泊五日のホテル暮らし。常にカバンは３個。日常生活を持ち歩いているようだ。十月には広域出張が連続し、外食続きで一ヵ月で体重が３キロも増えた。

帯広署の法人特官部門は、四国の１・５倍、大阪局に匹敵。広大な地の広域化事務運営は、人間的な日常生活も奪われる。広域運営は、見直されるべきではないだろうか。

いいことないなぁ～

【東京・中支部】

■e-Tax の目標達成は確実に無理。なにしろ、「メリットがない」とけんもほろろ。それでも署長から「調査より優先だ」とけしかけられ、統括官や特官はてんてんこ舞い。「本業」が留守になって、どこも「成績」が低迷。外部委員会から経費の無駄遣いも指摘されはじめ、さぁて責任は誰がとるの？

■永年表彰式。「事務的」の極みで、あれなら賞状を郵送した方がいいとの声。働き手を大切にできない職場の行くつく先は闇。

永年表彰、民間では

【近畿・兵庫県支部】

○永年表彰制度を実施している企業は８割、副賞は旅行クーポン、商品券、カタログギフトが増加。

○商品価格は、勤続20年７・５万円、30年13・２万円

（産労総研調べ）

私はどうなる？

【東京・玉川分会】

誰が一元化部門に行くのか、「私はどうなるの」という不安は当然。３月の身申時期はアッという間に迫る。大規模な異動が予測される中、どこでどんな仕事をするのか一番の関心事だ。当局は、飛び交う噂で生まれる職員の不安を払拭する責務がある。

嘆かわしい

【近畿・東大阪支部】

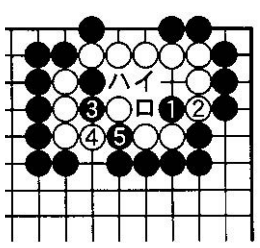
延滞税１２００円滞納の納税者と電話で話しました。

還付金が早く返るとの言葉に電子申告をして一週間で振り込みがあった。２ヵ月位かかると聞いていたから喜びも大きかった。

夏になり「申告が誤っているから修正申告を出して下さい」と連絡があり、しぶしぶ修正申告をしたら、今度は加算税だ延滞税だと言ってくる。素人相手にこんな理不尽なことがあるかと声を荒げる。

こちらは、心情は理解できますとしか言えない。電子申告の審査はどうなっているのか、と疑いたくなる。これが、e-Taxの実態とは、なんとも嘆かわしい。

詰碁



〈解答〉黒1、3が好手順。白4に黒5で両アタリになり白死です。

黒1で3は白1黒4白イで白生き。黒3で5は白ロ黒3白ハで殺せません。